

# 漁海況情報

2008年(平成20年)7月 第428号

沖縄県水産海洋研究センター  
901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号  
電話 098-994-3593・3597  
FAX 098-995-2357

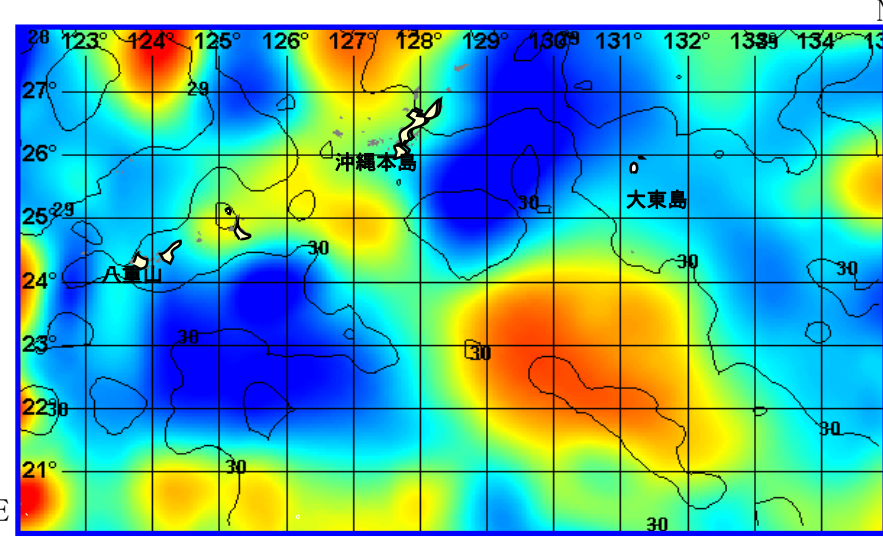


図1. 表面水温分布図(2008年8月29日) 資料: 東シナ海海況速報(漁業情報サービスセンター)  
最新情報提供: 沖縄県水産海洋研究センター URL: [http://www.esl.co.jp/webgis/on\\_kaiky/](http://www.esl.co.jp/webgis/on_kaiky/)

## 海況

表面水温: 8/29  
与那国島・八重山は30℃台、  
宮古島は30℃台、  
久米島・沖縄島西側は30℃台、  
南・北大東島は29℃台で、南大東島  
は約1℃降温し、その他では、  
前月からの変化は約1℃以内でした。  
(図1)

3月上旬から南・北大東島と沖縄島の  
間に冷水性の渦が確認されています。

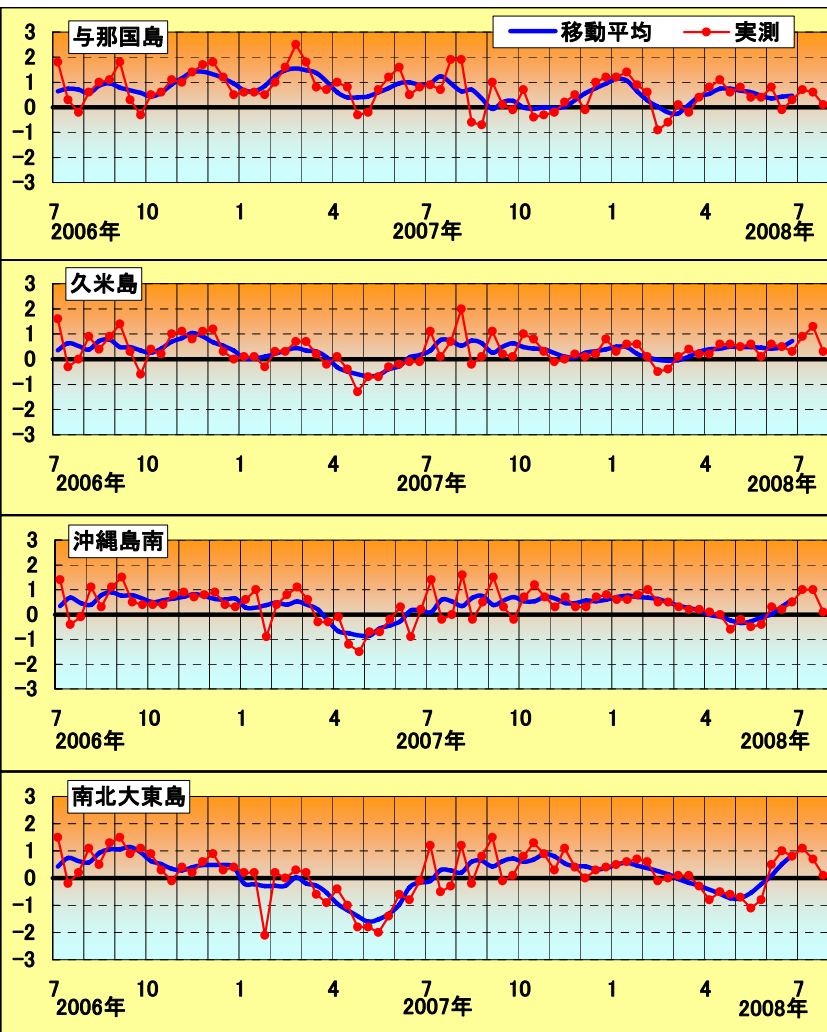
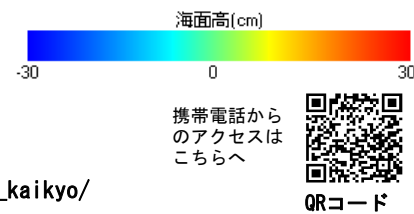
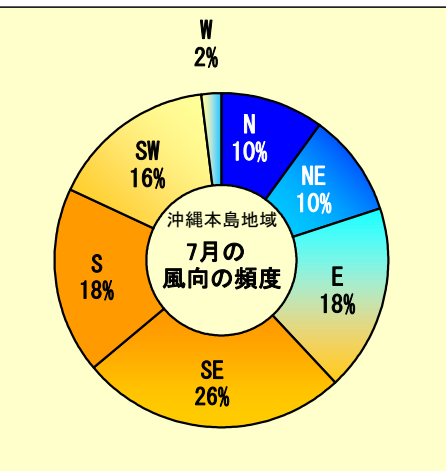


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)  
資料: 西日本海況旬報(長崎海洋気象台)



那覇の風向風速予報:  
7月は、南よりの風が全体の約60%  
を占めた。  
また、沖縄本島では風速9m以上の  
観測日は9日で全般に風の強い日は  
少なかった。  
(琉球新報天気欄より)

7月の表面水温平年偏差	
与那国	やや高め
久米島	やや高め
沖縄島南	やや高め
大東島	高め

## 漁況

パヤオ漁業: 沖縄島南部海域では、シビ、キハダ、伊良部では、カツオ、シビ、キハダの水揚げが多かった。

表1 7月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	計	伊良部	県内パヤオ 総漁獲量
シイラ	0.24	0.08	0.02	0.05	0.38	0.15	0.82
カサジキ	0.64	0.50	0.28	0.11	1.53	0.00	9.01
沖サワラ	0.37	0.05	0.11	0.23	0.76	0.27	1.49
カツオ	1.68	0.59	0.33	0.54	3.15	19.00	22.67
キハダ	8.87	1.06	2.90	0.23	13.06	9.83	43.40
シビ	10.01	3.80	2.26	10.24	26.31	10.23	41.82
メバチ	1.81	0.31	0.07	0.00	2.19	0.00	4.28
計	23.62	6.40	5.98	11.39	47.38	39.47	123.49



キハダ(ちんばに)

糸満では、シビ(10kg以上)が10.01t、キハダ(10kg未満)が8.87t、漁獲された。港川でシビが3.80t、知念ではキハダが2.90t、シビが2.26t、沖縄市でシビが10.24t、伊良部ではカツオが19.00t、シビが10.23t、キハダが9.83t漁獲された(表1)

表2 6~10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2004年	14.0	34.4	42.6	92.9	25.4	209.3
2005年	24.3	17.9	43.7	30.7	16.9	133.5
2006年	18.2	27.0	43.1	45.4	30.8	164.5
2007年	10.6	22.9	22.7	30.0	24.9	111.0
2008年	9.3	13.1				22.4

表3 6~10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2004年	17.7	38.8	24.4	42.9	10.7	134.5
2005年	15.2	29.1	30.7	26.7	14.4	116.0
2006年	59.7	35.8	44.9	34.9	33.2	208.5
2007年	14.2	26.9	21.8	56.4	27.2	146.6
2008年	21.8	26.3				

表4 6~10月のシイラ漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2004年	5.5	2.1	2.2	10.0	6.4	26.2
2005年	4.6	1.5	2.7	3.0	6.3	18.1
2006年	4.1	0.9	2.1	15.3	8.3	30.7
2007年	9.6	0.9	2.2	8.8	6.1	27.6
2008年	1.2	0.4				1.6

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~10月期のキハダとシビ、シイラの漁獲量を表2~4に示した。  
キハダの漁獲量は13.1tで、6月(9.3t)に比べて漁獲量が増加した。昨年の7月(22.9t)を下回った(図3)。

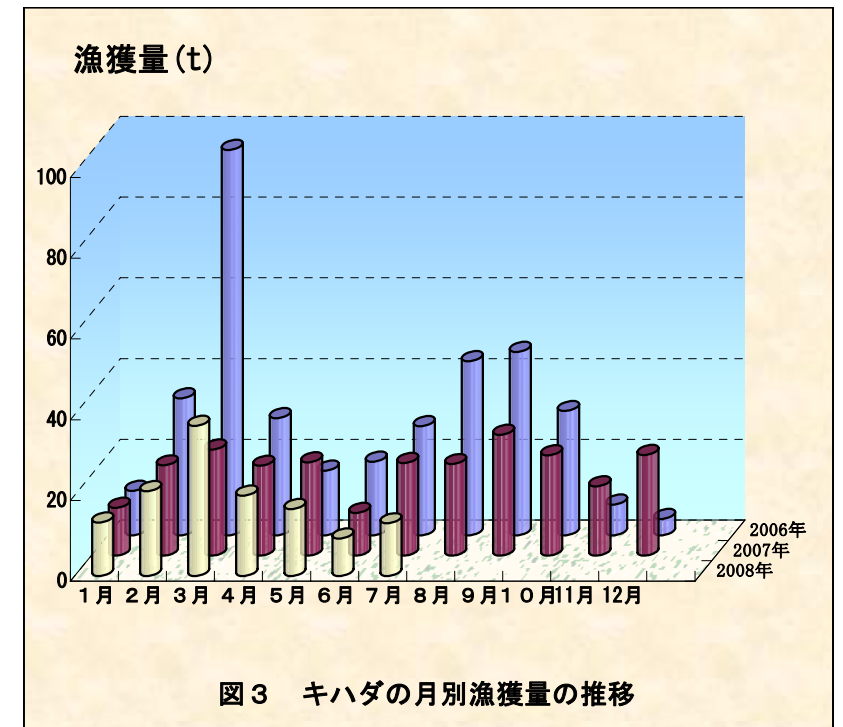


図3 キハダの月別漁獲量の推移

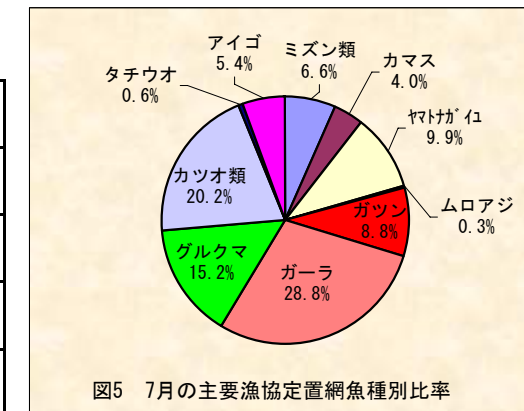


図5 7月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網: 7月の全体の漁獲状況は、先月(25,142kg)と比べて減少した。ガーラの漁獲が28.8%、カツオ類が20.2%を占めた(表3、図5)。

表3 7月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置				小型定置			合計	県内定置 総漁獲量	
	読谷	知念	石川	金武	名護	勝連	与那城			金武
ミズン類	197	0	1	16	256	14	40	0	525	525
カマス	264	17	0	6	0	14	11	0	312	319
ヤマトガレイ	181	100	95	56	0	249	104	0	785	785
ムロアジ	2	0	10	0	13	0	0	0	25	25
ガンツン	164	242	0	4	7	121	130	0	669	696
ガーラ	866	938	18	99	82	146	28	0	2,178	2,274
グルクマ	839	160	28	131	15	3	10	0	1,187	1,199
カツオ類	1,350	50	4	0	33	86	76	0	1,599	1,599
タチウオ	1	34	0	0	0	12	3	0	50	51
アイゴ	0	76	1	0	0	2	2	0	81	430
合計	3,865	1,617	157	313	406	647	404	0	7,410	7,903